

新宿区立花園小学校 学校だより

はなぞの

第338号 令和7年11月

子供の心と体を育てるために

校長 川崎 勝久

10月18日(土)に行われた開校30周年記念運動会には、多くの方にご来校いただき、ありがとうございました。12年ぶりの秋実施の運動会となりましたが、天候に恵まれ、子供たちが主体的に活動する姿を見ていただけたのではないのでしょうか。

運動会を実施することにはいくつも意義があるのですが、一番大きいことは「子供の心と体を育てる」ことです。徒競走で勝つことももちろんうれしいですが、大玉送りなど、団体戦で勝った時の喜びはまた違った感動があります。それは、自分自身が頑張ったことと共に「仲間と一緒に頑張った」という思いがあるからです。今年は花園小学校の特色の縦割りでのチーム活動を多くしたのですが、一人ひとりが自分の役割を考え、その役割を果たすために日々協力して本番に臨みました。みんなが運動会に向けて一生懸命取り組んできたことが、運動会本番の姿にあらわれていたと思います。どの子もこの頑張りを、これからの学習や生活に生かしてほしいです。また、これら子供の頑張りは、ご家庭での健康管理や準備、PTAの温かいご支援、親父の会をはじめ多くの方のお手伝い、そして地域の方々の温かいご声援があったからです。心より感謝いたします。

さて、「人間の一生は若きに極まる。一座の人にもあかれざるように」という言葉があります。これは戦国時代の武将、鍋島直茂の言葉です。言葉の意味は、「人の一生は若い時の志によって決まる。周りにいる人々が自分から離れていかないようにするためにも」という意味です。子供の時に、しっかりと考え抜いて行動することによって身に付いたことは、大人になってもなかなか忘れないものです。例えば、自分に厳しく他人にやさしく接しようとしていた子供は、大人になっても人から信頼されるような人になるのではないのでしょうか。私事で恐縮ですが、十数年ぶりに中学校の同窓会に先日出た時にも、大人になっても考えていることは、昔と変わらないなと感じたところでした。ただ、「わが身を律して、正しい道を追求する」には、強い心が必要になってきます。そのような強い心は、なかなか一朝一夕に養うことはできません。だからこそ、小学校時代いろいろな集団の活動を通して、自らの行いを正す意識をもてるようにしていくことが大事であると感じています。花園小学校は小さい学校ですが、これからも様々な活動場面を通して、友達と協力しながら自分で正しいと思える行動ができる子供になっていくよう教育活動をしていきます。



11月の生活目標
すすんで働こう



花園小学校 HP

11月の行事予定

- ④ 全校朝会 ⑤ 朝読書 ⑥ 安全指導
⑦ 体育朝会 ⑧ 児童集会 ⑨ 音楽朝会
⑩ 朝遊び

日	曜	学校行事
1	土	
2	日	
3	月	文化の日 四谷文化フェスタ
4	火	④ 委員会
5	水	⑥ 安全指導⑦ 小中連携(四六小)
6	木	⑧ 学校公開始 模擬選挙(6年3・4h)
7	金	⑤ セーフティ教室 和妻体験(6) (4h:1~4年、5h:5・6年)
8	土	⑤ 学校公開終 避難訓練⑦ 地域防災訓練 学校説明会
9	日	
10	月	振替休業日
11	火	④ 専門家指導(新苑)
12	水	⑩ 遊
13	木	⑤ 就学時健康診断
14	金	⑤ 校外学習(3・4年)
15	土	
16	日	
17	月	④ クラブ⑧ デフリンピック観戦(AM:5・6年)
18	火	⑤ 専門家指導(新苑)
19	水	⑩ 校内研究授業(1年・6年)
20	木	⑨ 縦割り班遊び
21	金	⑤ 生活科見学予備日(1年)
22	土	
23	日	勤労感謝の日
24	月	振替休業日
25	火	④ 音楽会特別時間割始
26	水	⑩ 遊
27	木	⑦ 体
28	金	⑤ 読 保幼小合同会議
29	土	
30	日	